

令和 7 年度(2025 年度)用

中学校国語科用













「新編 新しい国語」 年間指導計画作成資料

③ 年間指導計画例【1年】

令和 7 年（2025 年）1 月 29 日版

東京書籍

【1年】

領域〈系統〉・教材名／ ページ数・配当時数／ 未来への扉・ 他教科との関連	学習目標・ 学習指導要領との対応 ( は重点)	学習活動例 (＊は指導上の留意点や別案)	評価規準例 ( は重点)
(4月 1時間)			
読む〈詩(巻頭詩)〉 風の五線譜 巻頭 1時間  多様性	・詩の意味を捉え、読み方を工夫して音読する。 【知技】(1)オ 【思判表】C(1)  イ ⑤ C(2)イ	1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。 2 詩の意味を捉えて丁寧に音読したり、群読に取り組んだりする。  「作者の言葉(動画)」	【知技】 比喩、反復、体言止めなどの表現の技法を理解している。 【思判表】 「読むこと」において、詩に描かれた情景や心情などについて、描写をもとに捉えている。 【主】 進んで描写をもとに詩の情景を想像し、学習課題に沿って音読しようとしている。
(4月 4時間)			
読む〈言葉の学習〉 朗読の世界 P16 3時間  自己と他者	・相手に分かりやすく伝わるように表現を工夫する。 ・文章の内容を捉え、要旨をつかむ。 【知技】 (1)ウ 【思判表】 A(1)  ウ、C(1)  ア ⑤ C(2)イ	1 「見通す」の問いかけを確認し、学習の見通しを持つ。 2 手順①に取り組み、全文を通読し、適宜、漢字や語句を確認する。  「学習の前に」(P272) 3 手順②に取り組み、文章の内容を捉えてまとめる。 4 手順③～⑤に取り組み、発声練習をして、話し方に注意して文章を朗読する。 5 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習で生かしたいことを考える。 ＊「やってみよう」に取り組み、「ごんぎつね」の一場面を、表現を工夫して朗読するのもよい。  「筆者の言葉(動画)」など	【知技】 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】 「話すこと・聞くこと」において、相手に分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 【思判表】 「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。 【主】 進んで文章を読んで表現の仕方について考え、学習課題に沿って、相手に分かりやすく伝わるように表現を工夫しようとしている。
言葉〈日本語探検〉 音声の働きや仕組み P26 1時間	・音声の働きや仕組みについて理解する。 【知技】 (1)  ア	1 教材を読んで、音声の働きや仕組みについて理解する。  「アクセントとイントネーション(動画)」	【知技】 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 【主】 進んで音声の働きや仕組みについて理解し、見通しを持って、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。

1 言葉を楽しむ (4～5月 7時間)			
<p>読む〈言語感覚〉 詩の心——発見の喜び</p> <p>P 28 2 時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容を踏まえて、詩を解釈する。 詩を鑑賞して理解したことをもとに、自分の考えをまとめる。 <p>【知技】(1)ウオ 【思判表】C(1)ウオ ㊦ C(2)イ</p>	<ol style="list-style-type: none"> 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。 「つかむ」の設問①に取り組み、3編の詩について風景や思いを想像しながら、音読する。 「読み深める」の設問②に取り組み、鑑賞文と詩を関連づけて読む。 「考えを持つ」の設問③に取り組み、「チューリップ」の表現の工夫などについて話し合う。 <p>*「チューリップ」のほか、巻頭の「扉の詩八編」から好きな詩を選んで鑑賞するのによい。</p> <p>【言葉の力】 詩の鑑賞</p> <ol style="list-style-type: none"> 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習で生かしたいことを考える。 <p>【QR】「言葉の力 一覧」</p>	<p>【知技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【知技】比喩などの表現の技法を理解している。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、目的に応じて場面と描写などを結び付け、内容を解釈している。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。</p> <p>【主】進んで詩の情景を想像しながら音読し、学習課題に沿って、表現の工夫などについて考えたことを伝え合おうとしている。</p>
<p>書く〈詩歌創作〉 詩の創作</p> <p>P 33 3 時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> 読み手の立場に立って、語句の用法や表現の仕方などを確かめて、詩を創作する。 <p>【知技】(1)オ 【思判表】B(1)エ ㊦ B(2)ウ</p>	<ol style="list-style-type: none"> 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。 手順①～③に取り組み、4行程度の詩を作って読み合う。 <p>【言葉の力】 詩の表現の工夫</p> <p>*後の「さまざまな表現技法」と併せて学ぶとよい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習や生活で生かしたいことを考える。 <p>【QR】「活動の具体例」など</p>	<p>【知技】比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。</p> <p>【思判表】「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、詩を整えている。</p> <p>【主】表現を工夫することに粘り強く取り組み、学習課題に沿って詩を仕上げようとしている。</p>
<p>言葉〈漢字道場〉 活字と書き文字・画数・筆順</p> <p>P 36 1 時間</p> <p>【他】書写</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活字と書き文字の違い、画数、筆順について理解し、漢字を文や文章の中で使う。 <p>【知技】(1)イ</p>	<ol style="list-style-type: none"> 「活字と書き文字」を読んで、活字と書き文字の違いについて理解し、「問題」①に取り組む。 「画数」を読んで、画数について理解し、「問題」②に取り組む。 「筆順」を読んで、筆順について理解し、「問題」③に取り組む。 	<p>【知技】活字と書き文字の違い、画数、筆順について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p>【主】進んで活字と書き文字の違い、画数、筆順について理解し、学習課題に沿って、学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>言葉〈文法の窓／文法解説〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の単位について理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 教材（P 38）を読んで、文の区切り方を考える。また、「考えよう」 	<p>【知技】言葉の単位について理解している。</p>

<p>文法とは・言葉の単位——切り方変われば意味変わる</p> <p>P 38／P 230</p> <p>1 時間</p>	<p>【知技】(1)エ</p>	<p>に取り組む。適宜、漢字を確認する。</p> <p>2 「文法とは・言葉の単位」(P 230)を読んで、言葉の単位について理解を深める。また、「問題」1～2に取り組む。</p> <p>QR「文法ゲーム」など</p>	<p>【主】進んで言葉の単位について理解し、学習課題に沿って、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
2 思いを捉える (5～6 月 9 時間)			
<p>読む〈文学1〉 私たちの未来</p> <p>P 40</p> <p>4 時間</p> <p>未来 自己と他者／学校・社会</p>	<p>・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などを、描写をもとに読み取る。</p> <p>・作品から読み取ったことをもとに、自分の考えをまとめる。</p> <p>【知技】(1)ウ</p> <p>【思判表】C(1)イオ</p> <p>⑤ C(2)イ</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。</p> <p>3 「つかむ」の設問①に取り組む、場面の展開を捉える。</p> <p>4 「読み深める」の設問②～③に取り組む、人物の心情を読み取る。</p> <p>言葉の力 描写</p> <p>5 「考えを持つ」の設問④に取り組む、作品の印象や考えたことを伝え合う。</p> <p>6 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習で生かしたいことを考える。</p> <p>7 「広がる言葉」に取り組む、語感を磨き語彙を増やす。</p> <p>QR「作者の言葉(動画)」など</p>	<p>【知技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。</p> <p>【主】進んで人物の心情を描いた表現に注意して読み、学習課題に沿って、作品の印象や考えたことを伝え合おうとしている。</p>
<p>学びを支える言葉の力 (対話の学び) 話の聞き方・質問の仕方</p> <p>P 48</p> <p>1 時間</p>	<p>・話の聞き方や質問の仕方を理解し、質問しながら話の内容を捉える。</p> <p>【思判表】A(1)エ</p>	<p>1 「考えよう」と一コマ漫画を読んで、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 「1相手の話を理解する」を読んで、話の聞き方について理解を深め、話を聞いて内容を捉える。</p> <p>3 「2質問する」を読んで、質問の仕方について理解を深め、質問しながら話の内容を捉える。</p> <p>*後の「インタビュー」と併せて学ぶとよい。</p> <p>QR「考えよう(動画)」など</p>	<p>【思判表】「話すこと・聞くこと」において、質問しながら話の内容を捉えている。</p> <p>【主】進んで話の聞き方や質問の仕方を理解し、学習課題に沿って、質問しながら話の内容を捉えようとしている。</p>
<p>話す・聞く〈聞く〉 インタビュー</p> <p>P 50</p> <p>2 時間</p>	<p>・記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめる。</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 手順①～③に取り組む、よりよい質問を意識してインタビューをし、聞き取ったことをもとに、インタビュ</p>	<p>【思判表】「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分</p>

<p>未来 自己と他者</p>	<p>とめる。</p> <p>【思判表】 A(1)エ ⑤ A(2)ア</p>	<p>ユーをした相手のことを紹介する。</p> <p>言葉の力 メモと質問 資 「学習の前に」(P272)</p> <p>3 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習や生活で生かしたいことを考える。</p> <p>*前の「話の聞き方・質問の仕方」と併せて学ぶとよい。</p> <p>QR 「インタビューの例(動画)」など</p>	<p>の考えをまとめている。</p> <p>【主】進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿って、自分の考えをまとめようとしている。</p>
<p>言葉〈漢字道場〉 音読み・訓読み</p> <p>P 52 1 時間</p>	<p>・漢字の音読みと訓読みについて理解し、漢字を文や文章の中で使う。</p> <p>【知技】(1)イ</p>	<p>1 「漢字の音読み」を読んで、音読みについて理解し、「問題」①～②に取り組む。</p> <p>2 「漢字の訓読み」を読んで、訓読みについて理解し、「問題」③～④に取り組む。</p>	<p>【知技】漢字の音読みと訓読みについて理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p>【主】進んで漢字の音読みと訓読みについて理解し、学習課題に沿って、学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>言葉〈日本語探検〉 接続する語句・指示する語句——無重力空間を楽しもう</p> <p>P 54 1 時間</p>	<p>・接続する語句と指示する語句の役割について理解する。</p> <p>【知技】(1)エ</p>	<p>1 導入部分を読んで、接続する語句や指示する語句が、話や文章の中でどのように使われているかを大まかにつかむ。</p> <p>2 解説部分を読んで、接続する語句や指示する語句の役割について理解する。適宜、漢字を確認する。</p>	<p>【知技】接続する語句と指示する語句の役割について理解を深めている。</p> <p>【主】進んで接続する語句と指示する語句の役割について理解し、見通しを持って、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>3 分かりやすく伝える (6～7月 15時間)</p>			
<p>読む〈構成・展開〉 オオカミを見る目</p> <p>P 58 4 時間</p> <p>未来 多様性／地球環境</p>	<p>・段落の役割や段落どうしの関係を捉え、要旨をつかむ。</p> <p>・文章の構成や表現の効果について考える。</p> <p>【知技】(1)ウエ、(2)アイ 【思判表】 C(1)アエ ⑤ C(2)ア</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。</p> <p>3 「つかむ」の設問①～②に取り組む、問いと答えに着目して、内容をつかむ。</p> <p>言葉の力 段落の役割・段落どうしの関係 資 「思考のヒント」(P281)</p> <p>4 「読み深める」の設問③に取り組む、文章の構成や表現の工夫について考える。</p> <p>言葉の力 段落の役割・段落どうしの関係</p> <p>5 「考えを持つ」の設問④に取り組む、筆者の考えについて話し合う。</p> <p>6 「振り返る」を読み、学習を振り</p>	<p>【知技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【知技】接続する語句と指示する語句の役割について理解を深めている。</p> <p>【知技】原因と結果、考えと根拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【知技】比較や関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と考えとの</p>

		<p>返って、これからの学習で生かしたいことを考える。</p> <p>7 「広がる言葉」に取り組み、語感を磨き語彙を増やす。</p> <p>＊後の「情報の分類・比較」と併せて学ぶとよい。</p> <p>QR「筆者の言葉（動画）」など</p> <p>資『『常識』は変化する』（P261）</p>	<p>関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。</p> <p>【主】進んで段落の役割や段落どうしの関係に着目して読み、学習課題に沿って、文章の構成や表現の効果について考えている。</p>
<p>学びを支える言葉の力 〈情報と論理の学び〉 情報の分類・比較 P 66 1 時間</p>	<p>・分類や比較の仕方を理解し、情報を整理する。</p> <p>【知技】(2)イ</p>	<p>1 「考えよう」と一コマ漫画を読んで、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 「1分類する」を読んで、分類の仕方について理解を深め、情報を整理する。</p> <p>資「思考のヒント」（P280）</p> <p>3 「2比較する」を読んで、比較の仕方について理解を深め、情報を整理する。</p> <p>資「思考のヒント」（P280）</p> <p>＊前の「オオカミを見る目」や、後の「『食文化』のレポート」と併せて学ぶとよい。</p> <p>QR「考えよう（動画）」など</p>	<p>【知技】分類や比較などの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。</p> <p>【主】進んで分類や比較の仕方を理解し、学習課題に沿って情報を整理しようとしている。</p>
<p>書く〈伝達〉 「食文化」のレポート——比較して分かったことを伝えよう P 68 8 時間</p> <p>未来科学と探究／伝統と文化／情報社会</p>	<p>・日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理する。</p> <p>・内容の中心が明確になるように、分かりやすい文章の構成でレポートを書く。</p> <p>【知技】(2)アイ</p> <p>【思判表】B(1)アイ</p> <p>活B(2)ア</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、「学習の流れ」を見て、見通しを持つ。</p> <p>2 手順④～⑤に取り組み、「食文化」について、比較して分かったことを伝えるレポートを書く。</p> <p>言葉の力 比較による題材設定／レポートの構成</p> <p>資「思考のヒント」（P281）</p> <p>3 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習や生活で生かしたいことを考える。</p> <p>＊前の「情報の分類・比較」と併せて学ぶとよい。</p> <p>QR「学習の流れ（動画）」など</p>	<p>【知技】原因と結果、考えと根拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【知技】比較などの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。</p> <p>【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>【思判表】「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。</p> <p>【主】積極的に題材を決め、情報を収集・整理し、学習の見通しを持って、分かりやすい</p>

			構成でレポートを書こうとしている。
言葉〈漢字道場〉 国語の学習に関わる漢字 P 73 1 時間	・国語の学習に関わる語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使う。 【知技】(1)イ	1 問題に取り組み、国語の学習に関わる語句に用いられる漢字を確認する。 *関連する資料を適宜参照し、その漢字が使われている文脈を確認するのもよい。	【知技】国語の学習に関わる語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。 【主】進んで国語の学習に関わる語句に用いられる漢字について理解し、学習課題に沿って、学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。
言葉〈日本語探検〉 語の意味と文脈—— 「空飛ぶボール」で ひとつ飛び P 74 1 時間	・語のさまざまな意味や、文脈の働きについて理解する。 【知技】(1)ウ	1 導入部分を読んで、語のさまざまな意味の違いや、文脈の働きなどが、話や文章の中でどのように表れているかを大まかにつかむ。 2 解説部分を読んで、語のさまざまな意味や、文脈の働きについて理解する。適宜、漢字を確認する。	【知技】語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【主】進んで語のさまざまな意味や、文脈の働きについて理解し、見通しを持って、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。
(7 月 3 時間)			
読む〈読書 1〉 図書館の活用／平和のバトン P 76／P 78 3 時間 未来 平和・国際理解／自己と他者 他 社会（歴史）	・文章を読んだ感想や考えを話し合い、自分の考えを確かなものにする。 【知技】(3)オ 【思判表】C(1)オ Ⓔ C(2)ウ	1 「図書館の活用」(P 76)のリード文と「平和のバトン」(P 78)のタイトル下の問いかけを確認し、学習の見通しを持つ。 2 「図書館の活用」を読み、必要な情報の探し方や、図書館の活用方法について理解する。 3 「平和のバトン」全文を通読し、感じたことや考えたことを話し合う。適宜、漢字を確認する。 *「世界を広げる本〈戦争・平和〉」(P 88)で紹介されている本を活用し、読み比べたり読み広げたりしてもよい。 QR 「情報の調べ方」「太平洋戦争と原爆」など 資 「中学生におすすめの本」(P 268)	【知技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 【主】進んで読書の役割について理解を深め、学習の見通しを持って、文章を読んだ感想や考えを話し合おうとしている。
4 展開を捉える (9 月 11 時間)			
読む〈文学 2〉 さんちき P 92 4 時間	・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などを、描写をもとに読み取る。	1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。	【知技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して、

<p>未来 自己と他者／伝統と文化</p>	<p>・作品から読み取ったことをもとに、自分の考えを広げる。</p> <p>【知技】(1)ウ 【思判表】C(1)イオ ㊦ C(2)イ</p>	<p>2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。</p> <p>3 「つかむ」の設問①～②に取り組み、場面の展開や人物の関係を捉える。</p> <p>言葉の力 場面の展開</p> <p>4 「読み深める」の設問③に取り組み、人物の言動から心情を想像する。</p> <p>5 「考えを持つ」の設問④に取り組み、人物の心情を想像してまとめる。</p> <p>6 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習で生かしたいことを考える。</p> <p>7 「広がる言葉」に取り組み、語感を磨き語彙を増やす。</p> <p>*後の「場面と描写」と併せて学ぶとよい。</p> <p>QR 「作者の言葉（動画）」など</p>	<p>語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。</p> <p>【主】進んで人物や心情を描いた表現に注意して読み、学習課題に沿って、人物の心情を想像してまとめようとしている。</p>
<p>学びを支える言葉の力 〈文学の学び〉 場面と描写</p> <p>P 110 1 時間</p>	<p>・場面の展開や人物の心情などを、描写をもとに捉える。</p> <p>【思判表】C(1)イ</p>	<p>1 「考えよう」と一コマ漫画を読んで、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 「1 場面の展開を捉える」を読んで、場面の展開を捉えるにはどこに着目するとよいかを考える。</p> <p>3 「2 さまざまな描写に着目する」を読んで、描写について理解を深める。</p> <p>*前の「さんちき」と併せて学ぶとよい。</p> <p>QR 「考えよう（動画）」など</p>	<p>【思判表】「読むこと」において、場面の展開や人物の心情などについて、描写をもとに捉えている。</p> <p>【主】進んで場面の展開や描写について理解し、学習課題に沿って、小説の読解の仕方を深めようとしている。</p>
<p>書く〈通信・手紙〉 案内や報告の文章</p> <p>P 112 3 時間</p> <p>未来 学校・社会</p>	<p>・相手や目的に応じて必要な情報を選び、伝えたいことを明確にする。</p> <p>【思判表】B(1)ア ㊦ B(2)イ</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 手順①～②に取り組み、合唱祭の案内状と結果報告の記事を書く。</p> <p>言葉の力 案内や報告の文章の書き方</p> <p>3 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習や生活で生かしたいことを考える。</p> <p>QR 「活動の具体例」など</p>	<p>【思判表】「書くこと」において、相手や目的に応じて必要な情報を選び、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>【主】積極的に掲載する情報を選択し、学習課題に沿って、案内や報告の文章を書こうとしている。</p>
<p>言葉〈日本語探検〉 方言と共通語——全</p>	<p>・方言と共通語の果たす役割について理解</p>	<p>1 導入部分を読んで、方言と共通語が話や文章の中でどのように使われ</p>	<p>【知技】方言と共通語の果たす役割について理解している。</p>

<p>国のグルメ祭りに行こう</p> <p>P 114 1 時間</p>	<p>する。</p> <p>【知技】(3)ウ</p>	<p>ているかを大まかにつかむ。</p> <p>2 解説部分を読んで、方言と共通語の果たす役割について理解する。適宜、漢字を確認する。</p> <p>QR「各地の方言（動画）」</p>	<p>【主】進んで方言と共通語の果たす役割について理解し、見通しを持って、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>言葉〈文法の窓／文法解説〉 文の成分・連文節——文節をつなぐ見えない糸</p> <p>P 116／P 233 2 時間</p>	<p>・文の成分や、連文節、文節どうしの関係について理解する。</p> <p>【知技】(1)エ</p>	<p>1 教材（P 116）を読んで、文節どうしの関係を考える。また、「考えよう」に取り組む。</p> <p>2 「文の成分・連文節」（P 233）を読んで、文の成分や、連文節、文節どうしの関係について理解を深める。また、「問題」①～②に取り組む。</p> <p>QR「文法ゲーム」など</p>	<p>【知技】文の成分や、連文節、文節どうしの関係について理解している。</p> <p>【主】進んで文の成分や、連文節、文節どうしの関係について理解し、学習課題に沿って、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
5 考えをまとめる（10月 13時間）			
<p>読む〈吟味・判断〉 私のタンポポ研究</p> <p>P 118 5 時間</p> <p>未来科学と探究／地球環境</p>	<p>・事実と考えとの関係を捉え、要旨をつかむ。</p> <p>・目的に応じて必要な情報に着目して要約する。</p> <p>【知技】(1)ウ、(2)アイ</p> <p>【思判表】C(1)アウ</p> <p>⑤ C(2)ア</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。</p> <p>3 「つかむ」の設問①～②に取り組む、事実と考えとの関係を捉える。</p> <p>言葉の力 事実と考えとの関係</p> <p>資「思考のヒント」（P 281）</p> <p>4 「読み深める」の設問③に取り組む、必要な情報に着目して要約する。</p> <p>資「要約の仕方」（P 276）</p> <p>5 「考えを持つ」の設問④に取り組む、筆者の研究に向かう姿勢について話し合う。</p> <p>6 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習で生かしたいことを考える。</p> <p>7 「広がる言葉」に取り組み、語感を磨き語彙を増やす。</p> <p>*後の「意見と根拠」と併せて学ぶとよい。</p> <p>QR「筆者の言葉（動画）」など</p>	<p>【知技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【知技】事実と考えなど情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【知技】比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と考えとの関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。</p> <p>【主】進んで事実と筆者の考えとの関係を捉え、学習課題に沿って、必要な情報に着目して要約しようとしている。</p>
<p>学びを支える言葉の力 〈情報と論理の学び〉</p>	<p>・意見と根拠の関係について理解する。</p>	<p>1 「考えよう」と一コマ漫画を読んで、学習の見通しを持つ。</p>	<p>【知技】意見と根拠など情報と情報との関係について理解し</p>

<p>意見と根拠</p> <p>P 128 1 時間</p>	<p>【知技】(2)ア</p>	<p>2 「1事実と意見を区別する」を読んで、事実と意見の違いについて理解を深める。</p> <p>3 「2独断と水かけ論」を読んで、独断的な意見や、水かけ論について理解を深める。</p> <p>4 「3根拠を述べる」を読んで、意見と根拠の関係について理解を深める。</p> <p>*前の「私のタンポポ研究」や、後の「『写真』の意見文」と併せて学ぶとよい。</p> <p>QR「考えよう（動画）」など</p>	<p>ている。</p> <p>【主】進んで意見と根拠の関係について理解し、学習課題に沿って、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>書く〈論証・説得〉 「写真」の意見文 ——根拠を明確にして書こう</p> <p>P 130 6 時間</p> <p>未来情報社会</p>	<p>・根拠を明確に示して、自分の意見が伝わる文章を書く。</p> <p>・根拠の明確さなどについて、読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。</p> <p>【知技】(2)アイ 【思判表】B(1)ウオ ⑤ B(2)ア</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、「学習の流れ」を見て、見通しを持つ。</p> <p>2 手順①～④に取り組み、根拠を明確に示した意見文の書き方を確認する。</p> <p>*手順②で、「新聞記事」の写真A・Bそれぞれの長所・短所を考えてみるのもよい。</p> <p>言葉の力 根拠の示し方／意見文の感想交換 資「思考のヒント」（P 281）</p> <p>3 手順①～④に従って「問題」に取り組み、根拠を明確に示した意見文を書く。</p> <p>4 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習や生活で生かしたいことを考える。</p> <p>*前の「意見と根拠」と併せて学ぶとよい。</p> <p>QR「学習の流れ（動画）」など</p>	<p>【知技】意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【知技】比較などの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。</p> <p>【思判表】「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</p> <p>【思判表】「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</p> <p>【主】根拠を明確にしたり、読み手の助言を踏まえて改善点を見いだしたりすることに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って意見文を書こうとしている。</p>
<p>言葉〈漢字道場〉 漢字の部首</p> <p>P 134 1 時間</p>	<p>・漢字の部首とその意味について理解し、漢字を文や文章の中で使う。</p> <p>【知技】(1)イ</p>	<p>1 「部首とその意味」を読んで、部首とその意味について理解し、「問題」①に取り組む。</p> <p>2 「形の変化」を読んで、部首の形と呼び名について理解し、「問題」②に取り組む。</p> <p>3 「紛らわしい部首」を読んで、形が似ていて紛らわしい部首について知り、「問題」③に取り組む。</p>	<p>【知技】漢字の部首とその意味について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p>【主】進んで漢字の部首とその意味について理解し、学習課題に沿って、学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>
(10 月 1 時間)			

<p>読む〈詩（日本語のし らべ）〉 月夜の浜辺</p> <p>P 136 1 時間</p> <p>未来 伝統と文化</p>	<p>・詩の中の言葉から情景や心情を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。</p> <p>【知技】(1)オ 【思判表】C(1)イ ㊦ C(2)イ</p>	<p>1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。 2 詩の中の言葉から情景や心情を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。 3 「詩人と作品」（P138）を読み、中原中也について知る。</p> <p>QR 「作者の紹介（動画）」など</p>	<p>【知技】反復などの表現の技法を理解している。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、詩に描かれた情景や心情などについて、描写をもとに捉えている。</p> <p>【主】進んで詩に描かれた情景や心情を捉え、学習課題に沿って朗読しようとしている。</p>
6 伝統文化に親しむ（11 月 11 時間）			
<p>古典 移り行く浦島太郎の物語</p> <p>P 140 1 時間</p>	<p>・古典にはさまざまな種類の作品があることを知る。</p> <p>【知技】(3)イ 【思判表】C(1)オ</p>	<p>1 タイトル下の問いかけを確認し、学習の見通しを持つ。 2 「移り行く浦島太郎の物語」を通読し、現代に受け継がれる古典の世界に興味・関心を持つ。適宜、漢字を確認する。 3 「さまざまな浦島太郎の物語」を見て、自由な発想で物語が受け継がれてきたことを確認する。 4 「中学校3年間で学ぶ古典作品」を見て、古典にはさまざまな種類の作品があることを知る。 *「さまざまな古典作品」（P265）を読み、古典にはさまざまな種類の作品があることについて理解を深めるのもよい。</p>	<p>【知技】古典にはさまざまな種類の作品があることを理解している。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。</p> <p>【主】進んで文章を読んで古典の世界に親しみ、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持とうとしている。</p>
<p>古典 伊曾保物語</p> <p>P 144 2 時間</p> <p>未来 伝統と文化</p>	<p>・歴史的仮名遣いに注意して音読し、古典のリズムに慣れる。 ・場面と描写を結び付けて、内容を解釈する。</p> <p>【知技】(3)ア 【思判表】C(1)ウ</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。 3 「つかむ・読み深める」の設問①～②に取り組み、音読して、内容をつかむ。</p> <p>古典コラム 古典の仮名遣い</p> <p>4 「考えを持つ」の設問③に取り組み、作品について話し合う。 *「資料 ほかの章段も読んでみよう」を活用して、作品について考えを深めるのもよい。 5 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習で生かしたいことを考える。</p> <p>QR 「朗読（動画）」など</p>	<p>【知技】音読に必要な文語の決まりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。</p> <p>【主】進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って、作品について考えをまとめようとしている。</p>
<p>古典 竹取物語</p>	<p>・古典特有の言葉に注意して音読し、古典</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p>	<p>【知技】音読に必要な文語の決まりを知り、古文を音読し、</p>

<p>P 147 4 時間</p> <p>未来 伝統と文化 他 社会（歴史）</p>	<p>のリズムを味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品を読んで登場人物の心情を捉え、自分の考えをまとめる。 <p>【知技】(3)ア 【思判表】C(1)イオ</p>	<p>2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。</p> <p>3 「つかむ」の設問①～②に取り組み、音読して、内容をつかむ。</p> <p>古典コラム 古典の言葉とその意味</p> <p>4 「読み深める」の設問③～④に取り組み、人物の心情を捉える。</p> <p>5 「考えを持つ」の設問⑤に取り組み、古典の世界に親しみ、作品を味わう。</p> <p>*「資料 受け継がれる『竹取物語』」を読み、作品や文化の継承について考えを深めるとよい。</p> <p>6 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習で生かしたいことを考える。</p> <p>QR「朗読（動画）」など</p>	<p>古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。</p> <p>【主】進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って、登場人物の心情について話し合おうとしている。</p>
<p>古典 矛盾</p> <p>P 156 3 時間</p> <p>未来 伝統と文化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 訓読の仕方に注意して音読し、漢文調のリズムを味わう。 故事成語について調べ、体験や考えを文章にまとめる。 <p>【知技】(3)ア 【思判表】B(1)ア、C(1)オ</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。</p> <p>3 「つかむ」の設問①～②に取り組み、漢文調のリズムを味わい、漢文の特徴を知る。</p> <p>古典コラム 漢文の読み方</p> <p>4 「読み深める」の設問③に取り組み、展開や内容を捉える。</p> <p>5 「考えを持つ」の設問④に取り組み、自分の体験と結び付けて考える。</p> <p>*「資料 ほかの故事成語について知ろう」を読み、作品や文化の継承について考えを深めるとよい。</p> <p>6 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習で生かしたいことを考える。</p> <p>QR「朗読（動画）」など</p>	<p>【知技】音読に必要な訓読の仕方を知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。</p> <p>【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。</p> <p>【主】進んで音読して漢文特有のリズムを味わい、学習課題に沿って、故事成語について調べて自分の考えを文章にまとめようとしている。</p>
<p>言葉〈漢字道場〉 形の似た漢字</p> <p>P 160 1 時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> 形の似た漢字に注意して、漢字を文や文章の中で使う。 <p>【知技】(1)イ</p>	<p>1 問題①～④に取り組み、部首だけが違う形が似た漢字や、全体の形が似た漢字があること、1 画の有無によって違う漢字になることなどを理解する。</p>	<p>【知技】形の似た漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p>【主】進んで形の似た漢字について理解し、学習課題に沿って、学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>

7 伝え方を考える (11～12月 12時間)			
<p>読む〈言葉とメディア〉 ニュースの見方を考えよう</p> <p>P162 5時間</p> <p>未来情報社会</p>	<p>・文章を読んで理解したことをもとに、自分の考えを確かなものにする。</p> <p>・意図に応じて材料を選び、ニュースを編集する。</p> <p>【知技】(1)ウ 【思判表】B(1)ア、C(1)オ ㊦ C(2)ア</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。</p> <p>3 「つかむ」の設問①～②に取り組み、文章を読んで、筆者の考えを捉える。</p> <p>言葉の力 情報の精査</p> <p>4 「読み深める」の設問③～④に取り組み、ニュースを読み比べたり、編集したりする。</p> <p>5 「考えを持つ」の設問⑤に取り組み、ニュースの見方について自分の考えを持つ。</p> <p>言葉の力 情報の精査</p> <p>6 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習で生かしたいことを考える。</p> <p>QR「筆者の言葉(動画)」など</p>	<p>【知技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。</p> <p>【主】進んでニュースを編集し、学習課題に沿って、ニュースの見方について考えを持つようとしている。</p>
<p>学びを支える言葉の力 〈情報と論理の学び〉 原因と結果</p> <p>P172 1時間</p>	<p>・原因と結果の関係について理解する。</p> <p>【知技】(2)ア</p>	<p>1 「考えよう」と一コマ漫画を読んで、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 「1原因と結果の関係」を読んで、原因と結果の関係について理解を深める。</p> <p>3 「2原因と結果の関係を見つける」を読んで、原因と結果の関係の見つけ方について理解を深める。</p> <p>QR「考えよう(動画)」など</p>	<p>【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【主】進んで原因と結果の関係について理解し、学習課題に沿って、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>話す・聞く〈話す〉 「似ている言葉」スピーチ——中心を明確にして話そう</p> <p>P174 5時間</p> <p>未来科学と探究</p>	<p>・話の中心を明確にし、事実と考えとの関係に注意して、構成を考える。</p> <p>・聞き手の反応を踏まえて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する。</p> <p>【知技】(1)ウ、(2)アイ 【思判表】A(1)イウ ㊦ A(2)ア</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、「学習の流れ」を見て、見通しを持つ。</p> <p>2 手順①～④に取り組み、似ている言葉について調べ、話の中心を明確にしてスピーチをする。</p> <p>言葉の力 スピーチの構成／聞き手の反応を踏まえた話し方</p> <p>資「思考のヒント」(P281)／「学習の前に」(P272)</p> <p>3 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習や生活で生かしたいことを考える。</p>	<p>【知技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【知技】考えと根拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【知技】比較などの情報の整理の仕方、引用の仕方について理解を深め、それらを使っている。</p> <p>【思判表】「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや</p>

		QR「スピーチの例（動画）」など	<p>根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と考えとの関係などに注意して、話の構成を考えている。</p> <p>【思判表】「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。</p> <p>【主】話の中心を明確にすることに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って、聞き手の反応を踏まえたスピーチをしようとしている。</p>
<p>言葉〈漢字道場〉</p> <p>他教科で学ぶ漢字</p> <p>P 179</p> <p>1 時間</p> <p>他社会・理科・技術・家庭・保健体育</p>	<p>・他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使う。</p> <p>【知技】(1)イ</p>	<p>1 問題に取り組み、社会・理科・技術・家庭・保健体育で学ぶ語句に用いられる漢字を確認する。</p> <p>*他教科の教科書を適宜参照し、その漢字が含まれる語句を学ぶ時期や、その漢字が使われている文脈を確認するのもよい。</p>	<p>【知技】他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p>【主】進んで他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、学習課題に沿って、学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>
(12 月 2 時間)			
<p>読む〈読書 2〉</p> <p>お試し読書のすすめ／本のポップ</p> <p>P 180／188</p> <p>2 時間</p> <p>他書写</p>	<p>・さまざまな種類の本を読み、読書が知識や考えを広げるものであることを理解する。</p> <p>【知技】(3)オ</p> <p>【思判表】C(1)オ</p> <p>活C(2)ウ</p>	<p>1 「お試し読書のすすめ」(P 180)と「本のポップ」(P 188)のリード文を読み、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 小説、ノンフィクション、ファンタジー、科学読み物の作品 4 編の一部を読み、感じたことや考えたことを話し合う。</p> <p>3 「本のポップ」を参考に、おすすめの本のポップを作り、その本の魅力を伝え合う。</p> <p>*これまでに読んだ本や、「世界を広げる本〈さまざまな種類の本〉」(P 186)で紹介されている本を活用してもよい。</p> <p>QR「ポップの例」など</p> <p>資「中学生におすすめの本」(P 268)</p>	<p>【知技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。</p> <p>【主】進んで読書の役割について理解を深め、学習の見通しを持って、さまざまな種類の本を読もうとしている。</p>
8 視点を変える (1～2 月 22 時間)			
<p>読む〈文学 3〉</p> <p>少年の日の思い出</p> <p>P 190</p>	<p>・場面と場面、場面と描写を結び付けて、作品を読み深める。</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 全文を通読し、内容を大まかにつ</p>	<p>【知技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上</p>

<p>6 時間</p> <p>未来 自己と他者</p>	<p>・構成の工夫や表現の効果について考える。</p> <p>【知技】(1)ウ 【思判表】C(1)ウエ ⑤C(2)イ</p>	<p>かむ。適宜、漢字や語句を確認する。</p> <p>3 「つかむ」の設問①に取り組み、出来事を整理する。</p> <p>4 「読み深める」の設問②～④に取り組み、人物の思いを想像する。</p> <p>言葉の力 語り手・視点</p> <p>5 「考えを持つ」の設問⑤に取り組み、現在の「客」の思いについて話し合う。</p> <p>6 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習で生かしたいことを考える。</p> <p>7 「広がる言葉」に取り組み、語感を磨き語彙を増やす。</p> <p>QR「作者の紹介（動画）」など</p>	<p>の意味との関係に注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。</p> <p>【主】進んでさまざまな場面の描写をもとに作品を読み深め、学習課題に沿って、作品の構成の工夫や表現の効果について話し合おうとしている。</p>
<p>書く〈感性・想像〉 日常生活から生まれる随筆——心に残る出来事を表現しよう</p> <p>P 206 7 時間</p>	<p>・日常生活の中から題材を決め、伝えたいことを明確にする。</p> <p>・出来事と思いが伝わるように、表現を工夫して書く。</p> <p>【知技】(1)ウ 【思判表】B(1)アウ ⑤B(2)ウ</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、「学習の流れ」を見て、見通しを持つ。</p> <p>2 手順①～④に取り組み、日常生活を題材にした随筆を、表現を工夫して書く。</p> <p>言葉の力 随筆の題材設定／随筆の表現の工夫</p> <p>3 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習や生活で生かしたいことを考える。</p> <p>QR「学習の流れ（動画）」など</p>	<p>【知技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>【思判表】「書くこと」において、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</p> <p>【主】積極的に題材を見つけ、学習の見通しを持って、表現を工夫しながら随筆を書こうとしている。</p>
<p>話す・聞く〈話し合う〉 グループディスカッション——互いの発言を結び付けて話し合おう</p> <p>P 210 6 時間</p> <p>未来 学校・社会／自己と他者</p>	<p>・日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討する。</p> <p>・話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる。</p> <p>【知技】(2)イ 【思判表】A(1)アオ ⑤A(2)イ</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、「学習の流れ」を見て、見通しを持つ。</p> <p>2 手順①～④に取り組み、身の回りの物事のよさについて話し合い、グループの考えをまとめて発表する。</p> <p>言葉の力 材料の収集と整理／話し合いの進め方 資「思考のヒント」（P 280）</p> <p>3 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習や生活で生かしたいことを考える。</p>	<p>【知技】分類などの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。</p> <p>【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</p> <p>【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまと</p>

		QR「話し合いの例（動画）」など	<p>めている。</p> <p>【主】進んで話題に沿った材料を書き出して整理し、学習の見通しを持って、考えをまとめるために話し合おうとしている。</p>
<p>言葉〈文法の窓／文法解説〉</p> <p>単語の分類——単語分類マシンを完成させよう</p> <p>P 215／P 238</p> <p>2 時間</p>	<p>・単語の類別について理解する。</p> <p>【知技】(1)エ</p>	<p>1 教材（P 215）を読んで、単語の分類の仕方を考える。また、「考えよう」に取り組む。</p> <p>2 「単語の分類」（P 238）を読んで、単語の分類の仕方や、それぞれの品詞の特徴、働きについて理解を深める。また、「問題」①～②に取り組む。</p> <p>QR「文法ゲーム」など</p>	<p>【知技】単語の類別について理解している。</p> <p>【主】進んで単語の類別について理解し、学習課題に沿って、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>言葉〈漢字道場〉</p> <p>漢字の成り立ち</p> <p>P 216</p> <p>1 時間</p>	<p>・漢字の成り立ちについて理解し、漢字を文や文章の中で使う。</p> <p>【知技】(1)イ</p>	<p>1 教材を読んで、漢字の成り立ちや使い方による 6 通りの分類について理解し、「問題」①～⑥に取り組む。</p>	<p>【知技】漢字の成り立ちについて理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p>【主】進んで漢字の成り立ちについて理解し、学習課題に沿って、学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>
(2 月 2 時間)			
<p>読む〈詩（詩の言葉）〉</p> <p>わたしの中にも</p> <p>P 218</p> <p>2 時間</p>	<p>・詩に描かれた情景や心情を的確に捉える。</p> <p>・詩を読んで理解したことをもとに、考えを深める。</p> <p>【知技】(1)オ</p> <p>【思判表】C(1)イオ</p> <p>㊦ C(2)イ</p>	<p>1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。</p> <p>2 詩の中の言葉から、それぞれの連に描かれた情景や心情を捉え、どんな印象を受けるかを考える。</p> <p>3 詩を読んで、気づいたことや考えたことを話し合う。</p>	<p>【知技】比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、場面の展開や人物の心情などについて、描写をもとに捉えている。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、詩を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。</p> <p>【主】進んで詩に描かれた情景や心情を捉え、学習課題に沿って、気づいたことや考えたことを話し合おうとしている。</p>
(3 月 3 時間)			
<p>未来への扉</p> <p>多様性と共生社会</p> <p>P 220</p> <p>3 時間（「読む」2 時</p>	<p>・（「話す・聞く」を選択した場合）自分の考えや根拠が明確になるように、話の構</p>	<p>1 教材冒頭と「見通す」の問いかけを確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 『『ろう者』として生きる』を通読し、内容を大まかにつかむ。適</p>	<p>【知技】考えと根拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【思判表】（「話す・聞く」を選</p>

<p>間、「話す・聞く」 ／「書く」いずれか 1時間)</p> <p>未来多様性 他保健体育・道徳</p>	<p>成を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（「書く」を選択した場合）根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。 <p>【知技】(2)ア 【思判表】A(1)イ／B(1)ウ、C(1)オ ⑤ A(2)ア／B(2)ア、C(2)イ</p>	<p>宜、漢字を確認する。</p> <p>3 資料⑦⑧を読んで、多様性や共生社会について理解を深める。</p> <p>4 設問①に取り組み、筆者の考えをまとめる。</p> <p>5 設問②に取り組み、自分の考えをまとめる。</p> <p>6 （「話す・聞く」を選択した場合）設問③に取り組み、多様性と共生社会についてスピーチをする。 （「書く」を選択した場合）設問③に取り組み、多様性と共生社会について意見文を書く。</p> <p>7 学習を振り返るとともに、「未来を考えるための九つのテーマ」を振り返る。</p> <p>* 「未来を考える本」（P228）で紹介されている本を活用し、「未来を考えるための九つのテーマ」について理解を深めるのもよい。</p> <p>QR「筆者の言葉（動画）」</p>	<p>択した場合）「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。（「書く」を選択した場合）「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。</p> <p>【主】進んで多様性や共生社会について理解し、これまでの学習を生かして、自分の考えを伝えようとしている。</p>
(3月 1時間)			
<p>言葉〈漢字道場〉 小学校6年の漢字 〈日常〉</p> <p>P242 1時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校6年の漢字を書き、文や文章の中で使う。 <p>【知技】(1)イ</p>	<p>1 小学校6年の漢字を書く。</p> <p>QR「小学校6年の漢字」</p>	<p>【知技】小学校6年の漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>【主】進んで小学校6年の漢字を書き、学習課題に沿って、学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>